

伊佐市新庁舎共用スペース什器整備等
事業者選定公募型プロポーザル
設計コンセプト

伊佐市 財政課 庁舎建設係

・伊佐市の概要

鹿児島県伊佐市は、四方を山々に囲まれており、盆地状の地形をしていることから、夏は暑く、**冬は鹿児島県の北海道**と言われるほど冷え込みます。

伊佐での生活は、ゆたかな自然が織りなす四季を五感で感じながら、情緒を育み、日々の暮らしを送っております。

原風景が残る自然と共生していることから、鉄道や高速道路などは通っておらず、**移動手段はもっぱら自家用車**となります。

都会に“ある”ようなチェーン店はないけれど、**それこそが都会には“ない”**ものであって、しかも、「新緑の季節」には生き生きとしたやわらかな緑が、「灼熱の夏」にはスーッと広がる空と堂々とした雲が、「実りの秋」は黄金色に広がる稲の海が、「厳しい冬」は寒さの象徴でもある霜やつららが伊佐に住む人のすぐ目の前に広がっています。

近年では、伊佐を「先進的過疎」として捉え、クリエイティブに生きたい人など、多様な人のフィールドとして選ばれ始めています。

伊佐市の概要

面積：392.56km²

人口：21,772人（R8.8末）

基幹産業：農業、林業、畜産業

伊佐って??

南国のイメージがある鹿児島でありながら、
伊佐の冬は氷点下もしばしば。

天の川、**1年中**見れます。

低い建物に豊かな空。**伊佐の1/2は空。**どこを切り取っても映えます。

小学生が**すれ違うたびに挨拶**してくれます。

鹿児島市、熊本市、宮崎市どこに行くにも
車で2時間以内。空港、新幹線、高速ICまで1時間以内。車があればとにかく便利。

金の産出量が日本一。

家の**庭にホテル**がいることも！

狭い道路では**当たり前**のゆずり合い。
心にゆとりを持って運転できます。

水がうまい。水汲み場があって、
伊佐米や伊佐焼酎との相性抜群！

滝幅日本一。東洋のナイアガラと言われる「曾木の滝」があるんです。

昼夜の寒暖差と良質な水が、
おいしい作物を育てます。

温泉がいい。
ワンコインで家族風呂も！

気付いたら玄関に野菜が。近所の人のお裾分けがうれしい。

なんといっても米！甘くて香り高い
「伊佐米」は、冷めても美味しい。

伊佐って？

▶新庁舎建設事業の基本的な方針

- ① 誰もが立ち寄りやすい市民に開かれた庁舎
- ② 利用者へのサービス向上と効率的な行政経営を実現する庁舎
- ③ 防災・災害対策拠点としての機能を発揮できる庁舎
- ④ 環境負荷の少ない経済性の高い庁舎
- ⑤ まちづくりとして有機的な働きをもたらす庁舎

▶新庁舎（共用スペース）に対する市民からの期待

市民WSやパブコメでは、

「賑わい」「交流」「地域活性化」「地域経済」「年代を問わず集える場所」

といった声が寄せられている。

⇒新庁舎の共用スペースにおいて、建物や空間との親和性、性能、素材、アフターサービス等に配慮しつつ、『居心地のよさ』や『用の美』の視点を大切に
した空間デザイン・什器の提案をお待ちしております。

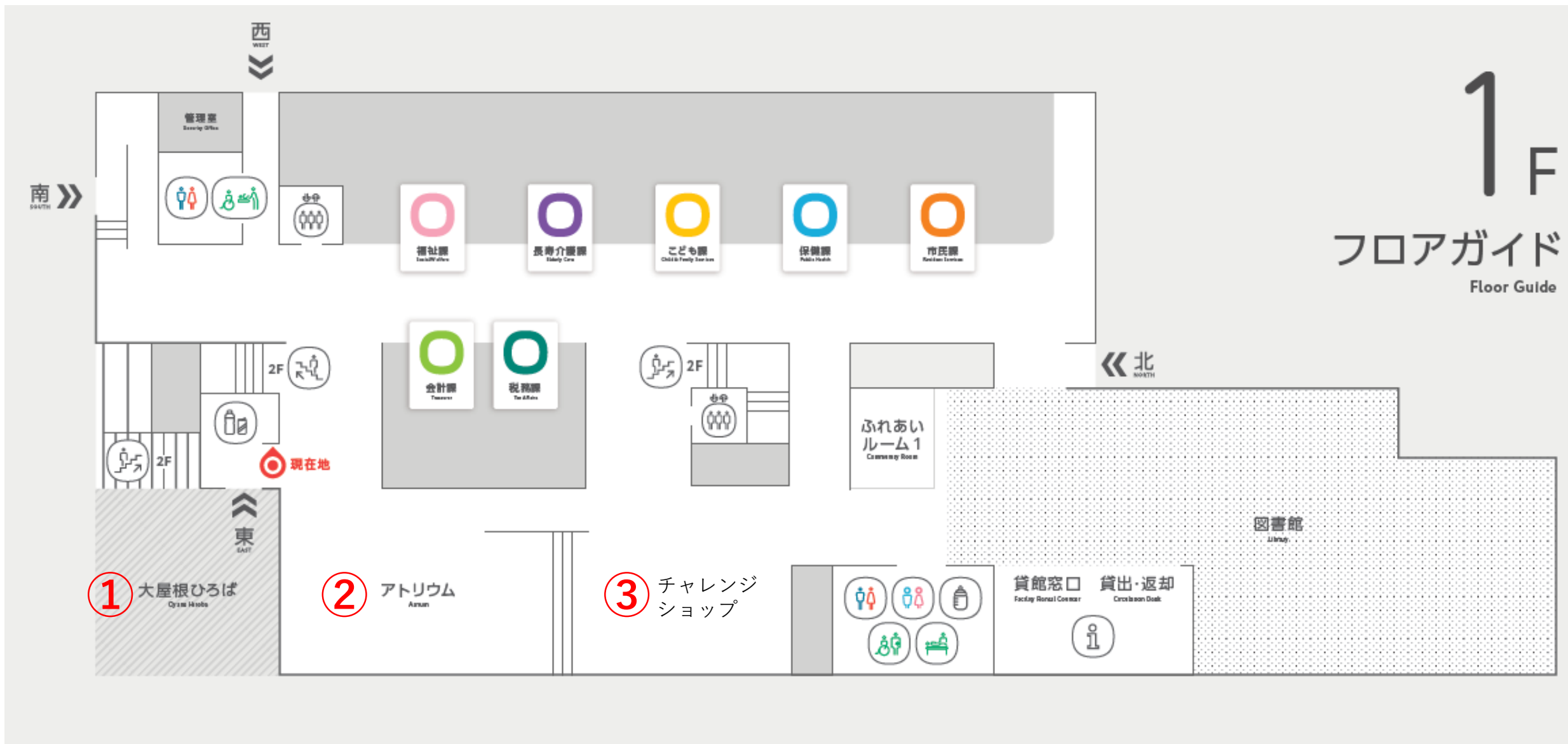
設計コンセプト

事 項	内 容	
スケジュール案	候補者特定 詳細調整 契約～製作開始 市民ワークショップ 納期 落成式・内覧会 開庁	令和 8 年10月末 令和 8 年12月上旬まで ※スケジュール、什器等の仕様調整 令和 8 年12月下旬から 令和 9 年 2 月頃 ※時期、回数等は仕様調整の中で決定 令和 9 年 3 月末 令和 9 年 4 月中旬 令和 9 年 5 月 6 日
参考資料	① 伊佐市新庁舎建設 基本計画 ② 伊佐市新庁舎建設 基本設計説明書 ③ 「共用スペース①⑥」用什器収納場所	

スケジュール案・参考資料

事 項	内 容
【企画提案書】 表紙：様式 6 提案書：任意様式 ※詳細は実施要領参照	①業務実施計画 ・本業務の実施体制、契約から納品までの工程表 ・納品後の保証、アフターメンテナンスサービスに関する考え方 ・公共空間づくりに関するノウハウ、他自治体や公共施設、その他民間の類似施設等における納品実績 等 ②全体コンセプトと各共用スペースのデザイン提案 ※「設計コンセプト資料」は、提案用に加工していただいて結構です。 ・建物や空間との親和性、魅力向上に関する考え方 ・各エリアコンセプトを踏まえた空間デザインの考え方と提案什器等。このとき、デザインのみに重きを置く”奇を衒った“ものではなく、使い手に寄り添った「居心地のよさ」や「用の美」の意識が大切であると考えております。 ・使い手にとって使い方のイメージが膨らむ什器やレイアウト、装飾品などの提案。 特に、キッズスペースは子どもや保護者にとって魅力的であり、かつ、安心して過ごせるような工夫、仕掛けなどを期待しています。 ・什器選定において特に工夫した点、配慮した点（使い勝手、安全性、デザイン等） ・什器選定における素材へのこだわり（可能な限り木材利用が好ましいと考えています。 優先順位：伊佐市産材＞鹿児島県産材＞国産材） ③市民ワークショップの企画提案 新庁舎整備事業における市民参画の一環として、市民等が参加するイベント（例：什器製作、什器塗装、端材を活用した木育など）を企画・提案してください。 親子や子ども同士など参加者同士の交流が生まれ、かつ、新庁舎に愛着を持ってもらえるようなイベントを提案してください。 できるだけ多くの人に幅広く関わって欲しいと考えていることから、例えば、複数回開催や、年齢やスキルに応じて内容・難易度を変えながら全〇回開催など、市民の笑顔に繋がるような企画提案を期待しています。 ※参加者の怪我や事故などに配慮したイベントとしてください。 ※参加者募集、ボランティア募集、会場の手配など、市も一緒になって運営に携わります。
【提案見積書】 様式 7 【内訳書】 任意様式 ※詳細は実施要領参照	提案什器等の「提案見積書」と提案什器等の数量及び単価が分かる「内訳書」を提出してください。 内訳書においては、エリアごとに提案した什器、装飾品、照明器具、ワークショップ、デザイン料などの単価及び数量が分かるように記載してください。

提案のポイント



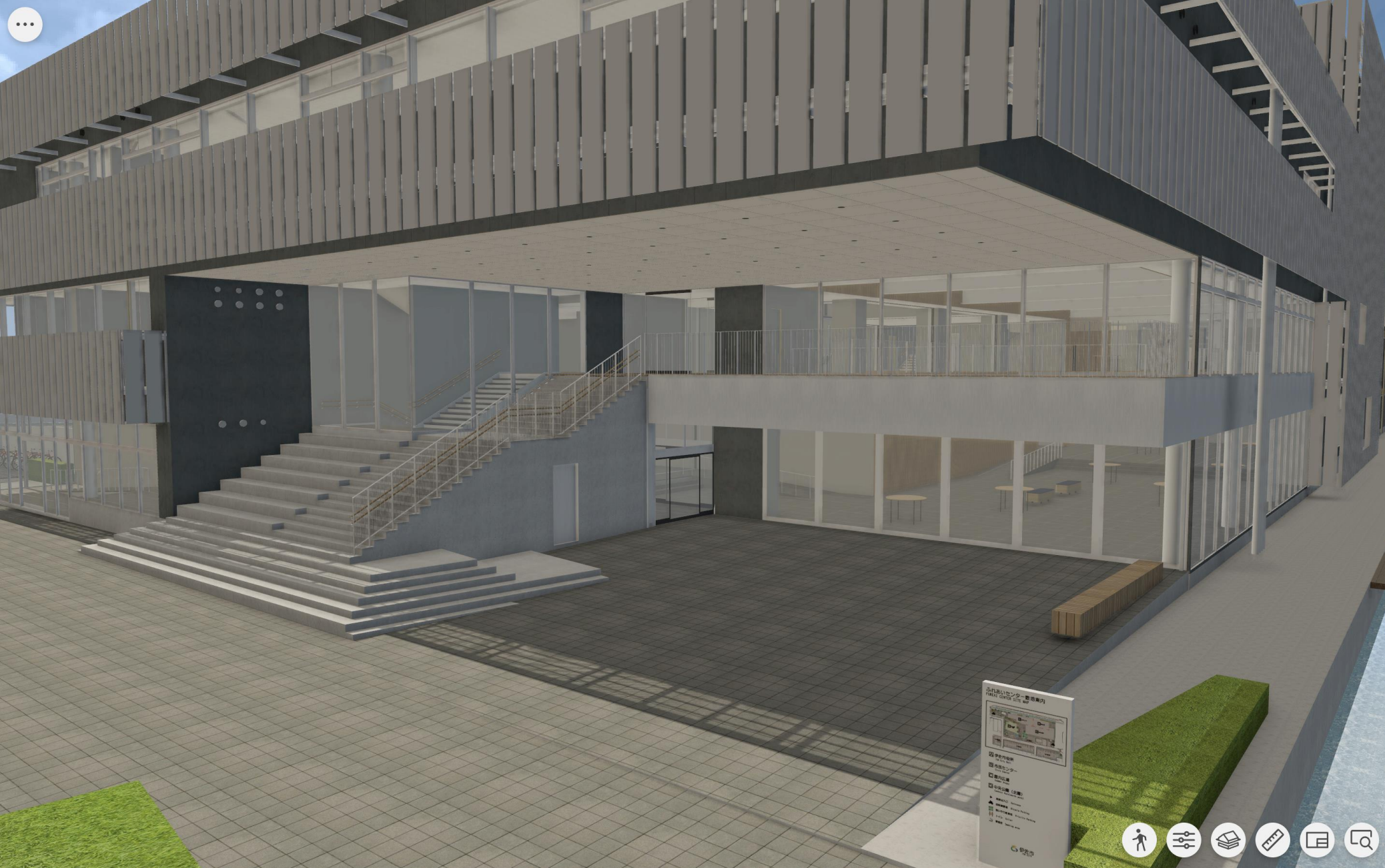
共用スペースの紹介 (1階フロアガイド)



共用スペースの紹介 1 階平面図



共用スペースの紹介 (2階フロアガイド)



『大屋根ひろば』

商店街・公園との連続性に配慮された半屋外空間。

人々の日常に溶け込む、新庁舎のエントランス。

面積：約150㎡程度

共用スペース①『大屋根ひろば』



『アトリウム』

旧ふれあいセンターのアトリウム空間を継承する場所。

日常は市民の憩いの場として、イベント時はメインステージに。

面積：約220㎡程度

※什器は仮のイメージです。

共用スペース②『アトリウム』



『チャレンジショップ』

市民が集い、足を留め、交流が自然発生的に起こっていくような場所。

面積：約100㎡程度

※什器は仮のイメージです。



共用スペース③『チャレンジショップ』



『ギャラリー』

展示や発表の場としてのギャラリー利用やちょっとした打ち合わせにも。

議場との一体利用も可。

面積：約100㎡程度

※什器は仮のイメージです。



共用スペース④ 『ギャラリー』



『カフェ』

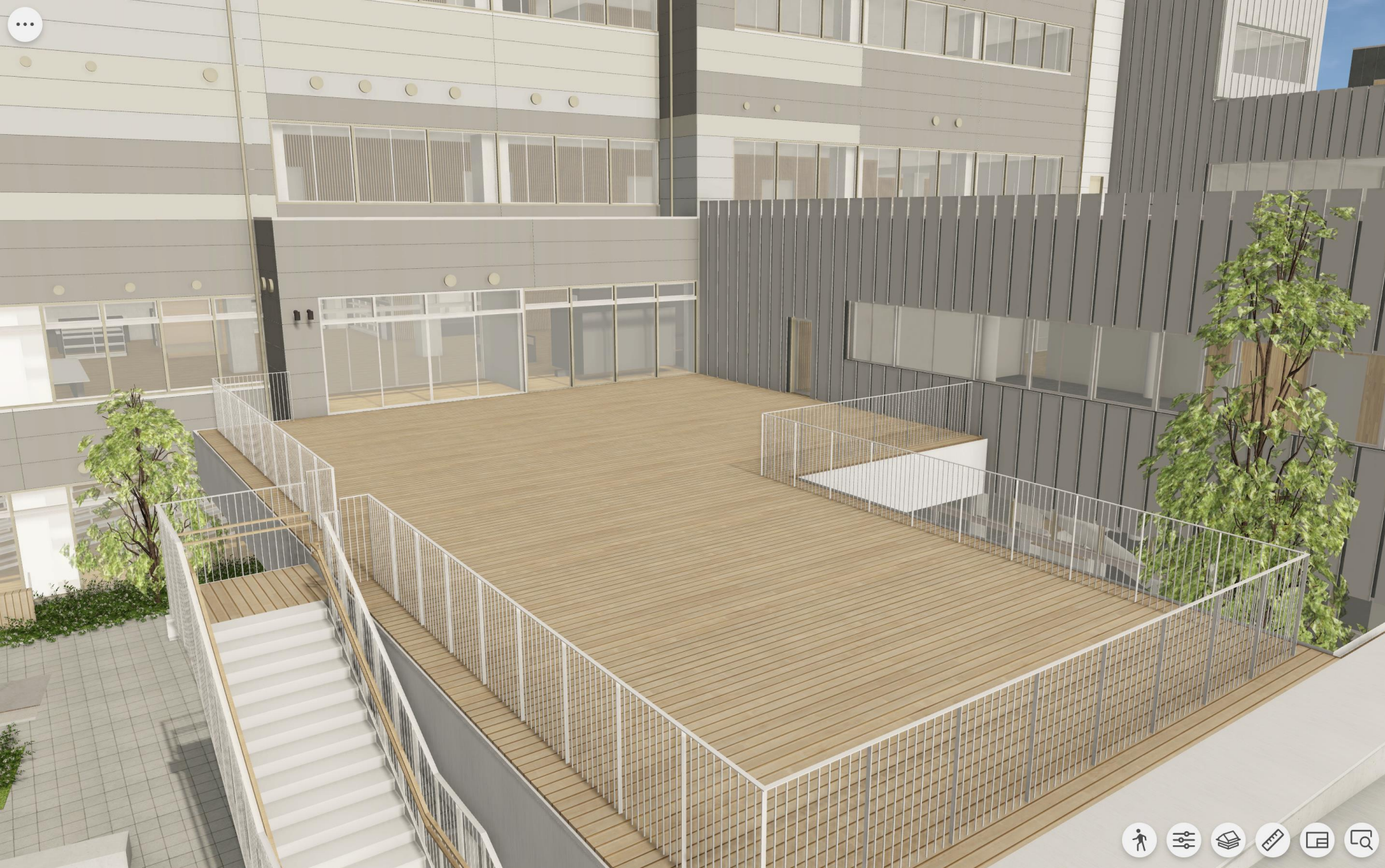
常設店舗等によるカフェ。
伊佐の美味いが滞在時間を豊
かなものに。

面積：約90㎡程度

※什器は仮のイメージです。



共用スペース⑤ 『カフェ』



『イサテラス』

庁舎・図書館・公園を繋ぐ
テラスは、屋外ならではの開
放感が得られる特設ステージ。

面積：約150㎡程度



共用スペース⑥ 『イサテラス』

種別	フロア	エリア名	エリアコンセプト	使い手・使い方のイメージ	什器等のイメージ	想定席数	その他
半屋外	1階	①大屋根ひろば	・商店街、公園との連続性に配慮された半屋外空間は、人々の日常に溶け込む、新庁舎のエントランス。 ※建具を開放することで②アトリウムとの一体利用も可。	【日常利用】 ・近隣住民、学生などの休憩場所として 【イベント等利用】 ・マルシェや朝市など ・災害時の炊き出し	・半屋外設置のため、耐久性、耐熱性のある什器が望ましい（出店用テーブル、客席用机・椅子） ・提案什器は、収納場所に限りがあることから、極力、省スペースに収納できるもの（折り畳み、スタッキングなど）が望ましい ・出展者名等を表示できるような看板 など ※⑥イサテラスでも流用することを想定している。 ※天井部への照明設置は建物の構造上不可	指定なし	収納場所は別途提示（参考資料③）
屋内	1階	②アトリウム	・旧ふれあいセンターのアトリウム空間を継承する場所。 ・日常は市民の憩いの場として、イベント時はメインステージに。 ※③チャレンジショップで想定しているキッズスペースや情報発信ブースは、当該スペースに配置しても可 ※建具を開放することで①大屋根ひろばとの一体利用も可。	【日常利用】 ・近隣住民、学生などの憩いの場 ・市民団体などの打ち合わせ ・読書、自習、待ち合わせなど 【イベント等利用】 ・マルシェなど	・テーブル、チェアのセット ・ベンチ、ソファ ・グリーン など ※天井部への照明設置は建物の構造上不可	指定なし	—
屋内	1階	③チャレンジショップ	・市民が集い、足を留め、交流が自然発生的に起こっていくような場所。 ・ポップアップストア、キッズスペース、情報発信ブース、ワークショップエリアなど。 ※キッズスペースや情報発信ブースは、②アトリウムに配置しても可	【日常利用】 ・市内店舗、B型事業者、高校生などが商品販売、展示ができる ・情報発信コーナー（観光、地域、移住など）は、市民や観光客、移住希望者が情報を得られる場所として ・キッズスペース利用の親子連れ 【イベント等利用】 ・マルシェ ・ワークショップ、小規模セミナー開催	・ポップアップストア用の什器類（2～3店舗程度） ・パンフレットやポスター、チラシなどを掲示、展示、格納できるような什器類（5～6コーナー程度） ・キッズスペース用家具（参考：大川ファクトリアMOKUNOS） ・子ども用おもちゃ、靴箱 ・ワークショップや小規模セミナーなどが開催できるような什器類 ・グリーン ・各ブース名を表示できるような看板 など ※天井部への照明設置は建物の構造上不可	指定なし	—

各エリアの想定①

種別	フロア	エリア名	エリアコンセプト	使い手・使い方のイメージ	什器等のイメージ	想定席数	その他
屋内	2階	④ギャラリー	・各種展示の場としてのギャラリー利用やちょっとした打ち合わせにも。 ・アート鑑賞やイベント鑑賞に集中できるシンプルで居心地の良い空間	【日常利用】 ・議会開会中は傍聴者の溜まりスペース ・執務ゾーンの待合空間の延長として簡易な打ち合わせ等 【イベント等利用】 ・各種展示の場として、学生の作品発表や市民団体の作品、活動展示など	・作品展示用の可動式パーテーション ・展示用の照明器具 ・テーブル、チェアのセット など	指定なし	—
屋内	2階	⑤カフェ	・常設店舗等によるカフェ。 ・伊佐の美味いが滞在時間を豊かなものに。	【日常利用】 ・カフェ利用者や施設利用者の飲食、休憩場所として ・市民の談話、打ち合わせなど ・読書、自習、待ち合わせなど	・テーブル、チェアのセット ・ベンチ、ソファ ・グリーン など ※天井部への照明設置は建物の構造上不可	30席程度	—
屋外	2階	⑥イサテラス	・庁舎、図書館、公園を繋ぐテラスは、屋外ならではの開放感が得られる特設ステージ。	【日常利用】 ・公園⇄図書館⇄庁舎をつなぐ通路 【イベント利用】 ・花火大会観覧、公園との一体利用によるマルシェ開催など	「①大屋根ひろば」の什器を流用（一部又は全部）する前提で提案すること。	指定なし	—

各エリアの想定②